

国内ユニファイドコミュニケーション / コラボレーティブワークスペース市場予測を公表

Japan, 2020年5月19日 - IT専門調査会社 IDC Japan 株式会社 (所在地: 東京都千代田区九段北1-13-5、代表取締役社長: 竹内正人、Tel代表: 03-3556-4760) は、国内ユニファイドコミュニケーション / コラボレーティブワークスペース市場予測を公表しました。

2019年の国内ユニファイドコミュニケーション (UC) / コラボレーティブワークスペース市場は、前年比成長率が6.0%、市場規模 (売上額ベース) が3,667億3,200万円となりました。2019年の同市場は、企業での働き方改革の進行、予定されていた東京2020オリンピック・パラリンピックのインバウンド需要増などの要因によって、企業音声基盤 / コンタクトセンターの大型リプレイス案件などがあり堅調に推移しました。IDCでは2020年初頭から発生している新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の流行は、同市場にも影響を与え、2020年は一時的に成長が鈍化すると予測しています。2020年は一部の市場セグメントでマイナス成長になると予測していますが、2021年以降は在宅勤務需要の増加などによって、コラボレーティブワークスペース市場を中心に堅調に成長すると予測しています。同市場は、2019年~2024年の年間平均成長率 (CAGR: Compound Annual Growth Rate) 3.2%で推移し、2024年には4,299億2,900万円になるとIDCでは予測しています。

IDC Japan グループディレクターの**真鍋 敬** は「国内UC / コラボレーティブワークスペース市場が今後も成長していくために、ITサプライヤーは中小企業の在宅勤務促進に向けたクラウドサービス / サポートの提供が重要であり、またAIによるコンタクトセンターやナレッジワーカーに対するインテリジェントサポートを訴求ポイントにした新たなワークスペース提案方法を検討するべきである」と述べています。

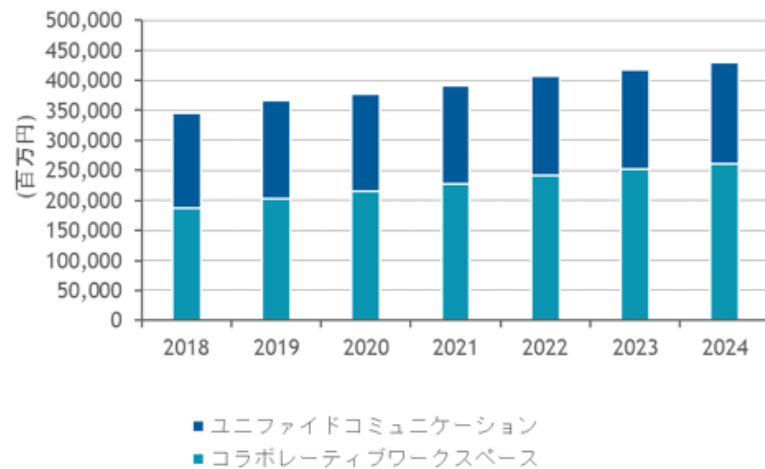
今回の発表はIDCが発行した[国内ユニファイドコミュニケーション / コラボレーティブワークスペース市場予測、2020年~2024年](#)にその詳細が報告されています。本調査レポート

トは、国内ユニファイドコミュニケーション（UC）/ コラボレーティブワークスペース市場の2019年の実績と2020年～2024年の市場予測を提供しています。

< 参考資料 >

国内ユニファイドコミュニケーション / コラボレーティブワークスペース市場予測 2020年～2024年

Figure 1



Note: 本市場予測は、2020年3月末時点における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響および見通しを考慮したものである

Source: IDC Japan, 5/2020

IDC is a subsidiary of IDG, the world's leading technology media, research, and events company. Additional information can be found at www.idc.com. All product and company names may be trademarks or registered trademarks of their respective holders.

For more information contact:

jp-Press Japan

jp-press@idcjapan.co.jp

+81-3-3556-4768